

上州文化

ラボは、かつて乾

繭の保管庫として機能して

いた旧安田銀行担保倉庫を拠点に活

動する市民団体です。近年、前橋工科大学白

井研究室とともに前橋市を中心とした絹文化遺産の調

査・周知活動を行い、前橋シルクの新たな価値創造を目的に活動してきました。本年より、前橋市出身のアーティスト後藤朋美氏とともに、前橋の養蚕・絹文化の歴史をひもとく、もうひとつの視点で考察をするという活動を行っています。今秋は、旧安田銀行担保倉庫、旧前橋文化研究所、map前橋”市民”ギャラリーで村上雅紀を中心に養蚕に取り組んでいます。

この度、その現在進行形の活動報告として、旧安田銀行担保倉庫内糸蔵にて「蚕起桑食生糸紡音 後藤朋美展」を開催致します。前橋市の絹文化歴史を今に伝える当倉庫の空間での、後藤朋美展ぜひご高覧ください。

KaikoOkiteKuwawoHomu, UmarerutowoTsumuguOto

2018/11/3 sat ≈ 4sun
OPEN 13:00~18:00

11/4 sun 18:10~19:10 クロージingtーク「養蚕を通して見えてきたこと」
後藤朋美 (アーティスト) × 白井敬太郎 (前橋工科大講師)
× 村上雅紀 (上州文化ラボ代表)

会場 旧安田銀行担保倉庫西側 糸蔵
前橋市住吉町 2-10-2 Tel. 027-231-5782

*お車でお越しの際は倉庫南側駐車場 NO.16~22を

ご利用下さい。満車の場合は係員にご相談下さい。

入場料 無料 問合先 090-2522-8079 (村上)

主催 上州文化ラボ

協力 (協)前橋商品市場、前橋工科大学白井研究室
特定非営利活動法人カラフル、座繰り・染織家 中野絢子
「前橋まちなかアーツ助成」

養蚕場所 9/8~9/23 前橋文化研究所
9/23~10/3 map (前橋”市民”ギャラリー)

後藤朋美
蚕起桑食生糸紡音
EXHIBITION

Tomomi GOTO



PHOTO DIARY

Tomomi GOTO

2018/9/16 sun 16:45

村上さんと桑畑に桑を刈りに行く。
そこで、桑を食む「桑子」に初めて出会った。

村上さんと大胡の桑畑に桑を刈りに行く。
そこで、桑を食む桑子に、初めて出会った。

身体はうっすらと緑色で、顔の中心は私の知っている蚕と違って尖っている。
桑は大きく育っていて、私の背丈をゆうに超える。
株の根元にはバッタや小さな虫たちが生息していて、少し歩くだけで、
見たことのない綺麗な色の羽根のある昆虫、懐かしいカミキリムシが
目に飛び来んでくる。緑の桑の葉に緑の蛙。

幼少の頃、荒牧の実家の前にも、まだ桑畑があって桑のみ(とどめ)をつぶして
妹達とおままごとの材料にして遊んだことを思い出す。
桑の間をくぐり抜け、おいかけっこをしたり
桑の根元の土をほりおこしたり、
桑畑と道路の境界線に座り、夕暮れ時の我が家をよく見上げていた。

桑の茎には十分な水分があって、
パチパチと一葉を摘む度に音がする。
株から伸びた上半分のところを切った
桑一束分を車につんで研究所へ戻る。

「蚕起桑食」
七十二候の一つ、二十四節気の小満の初候に相当し、
季節は初夏、蚕が桑を盛んに食へ始めるなどの意味。